

詩が音楽に呼びかけ
音楽が詩に呼びかけ
響きあう

谷川俊太郎 & 谷川賢作

©阿佐ヶ谷アートストリート

Concert 聴くと聞こえる

2018年10月19日(金) 開演19:00(開場18:30)

谷川俊太郎(朗読) / 谷川賢作(ピアノ)

浜離宮朝日ホール

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2 (朝日新聞本社・新館2階) Tel 03-5541-8710

チケット 一般 4000円(税込み)

[全席指定]

25歳以下 2500円(税込み / 創元社のみ取り扱い / 席数限定先着順)

* 車イスでお越しの方、および25歳以下チケットをご希望の方は事前にご連絡ください(⇒創元社06-6231-9009)。

* 未就学児童の入場はご遠慮ください。就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。

2018年6月11日(月) 発売開始

取り扱い 朝日ホールチケットセンター 03-3267-9990(10:00~18:00 日・祝休)
チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード:118320)
e+イープラス <http://eplus.jp/>

お問い合わせ 株式会社創元社 (event1019@sogensha.com 06-6231-9009 [平日 10:00 ~ 17:00] 担当: 桜井)
* 会場については、浜離宮朝日ホールにお問い合わせください (03-5541-8710)。

主催: 株式会社 創元社 / 企画制作協力: 青澤隆明、Piazza dei Libri

moderato

音楽の時

鍵盤の上の手を休めて

シュベールは未来の子どもの眼で

暮れかかる野に目をこらす

子どもよ 君は聞くだろうかこれを

この生まれたばかりの旋律を

太古から存在していたかのように

いまその旋律が夕暮れの野から

彼方の山なみへと溶けてゆく

耳をヘッドフォンに預けて

少年はきれぎれの空想に身をまかせる

少女は菩提樹の枝にまたがっている

懐かしい闇がゆつくりふたりを抱き取る

深く音楽を愛する谷川俊太郎が、60年を越える創作のなかから、聴くこと、聞こえるものにちなむ詩とエッセイを選んで編んだ『聴くと聞こえる』。本公演は、その刊行を記念して、詩人の朗読と谷川賢作のピアノで、この二冊を「聞こえる」ものにするコンサートです。

谷川 賢作

1960年東京生まれ。ジャズピアノを佐藤允彦に師事。現代詩をうたうバンド「Diva」、ハーモニカ演奏者続木力とのユニット「バリヤーン」、父である谷川俊太郎と共に朗読と音楽のコンサートを全国各地で開催。80年代半ばより作・編曲の仕事を始め、映画「四十七人の刺客」「赤い襦 富岡製糸場物語」、NHK「その時歴史が動いた」テーマ曲などを手がける。88、95、97年に、日本アカデミー賞優秀音楽賞受賞。2018年、音楽を担当した新作映画「獄友」が全国公開中。オフィシャルサイト <http://tanikawakensaku.com/>



© 深堀瑞穂



© 深堀瑞穂

谷川俊太郎

1931年東京生まれ。1952年に詩集『二十億光年の孤独』（創元社）でデビュー。『月火水木金土日のうた』で第4回日本レコード大賞作詞賞(1962)、『マザー・グースのうた』で日本翻訳文化賞(1975)、『日々の地図』で第34回読売文学賞(1982)、『世間知らず』で第1回萩原朔太郎賞(1993)、『トロムソコラージュ』で第1回鮎川信夫賞(2010)など数々の受賞歴をもつ。2500を超える詩の創作以外に、絵本、翻訳、映画の脚本など幅広いジャンルで活躍する日本を代表する詩人の一人。作品は多くの国で翻訳され世界的評価も高い。



〔築地市場駅〕都営大江戸線(A2出口)すぐ
〔築地駅〕東京メトロ日比谷線(1,2番出口)徒歩8分
〔東銀座駅〕都営浅草線(6番出口)徒歩約8分

★当日、ホワイエにて谷川俊太郎さんのサイン入りご著書(数量限定)と、谷川賢作さんのオリジナルCDの販売を行います。ぜひお立ち寄りください。

聴くと聞こえる

谷川俊太郎

on Listening 1950-2017

だがぼくはそれを十分に聞いただろうか

初期の作品から最新書き下ろしまで、「聴く」ことをめぐる、心にしみるアンソロジー『二十億光年の孤独』『62のソネット』から65年ぶりの創元社刊

創元社

四六変型判／上製／128ページ／1800円+税
[お問い合わせ、ご注文はこちら]
創元社06-6231-9010

